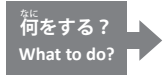


8 日本語で面接を受ける

1. 「私のクラスのインターアクション」の例



例 1)	どんな場面？	メールであらかじめ都合がいい日時を聞き、奨学金をもらうための面接を受ける。
	誰と？	この活動に協力してくれる学内の教職員
例 2)	どんな場面？	2、3種類のアパート募集情報から選び、そのアルバイト店員になるための面接を受ける。
	誰と？	あらかじめ依頼をしていた地域の社会人ボランティア
例 3)	どんな場面？	進学したい大学または大学院の先生に連絡を取り、面接を受けに行く。
	誰と？	この授業の担任教師または協力してくれる他の教職員



面接開始時間に間に合うように指定された面接場所に出向き、面接を受ける。

2. デザインのポイント／注意点

- この活動の目的の1つは、自分が面接を受けることになった際に、面接でのやり取りに備えて、どのように準備をしていくかを学ぶことです。面接官との事前連絡から疑似面接を受けるところまで、一通り体験して学びます。一通り体験することで、自分が興味を持っている仕事や進学先への面接に備えることやオフィシャルな場面でのやり取りへの自信をつけます。
- 「どんな場面？」では、実際には疑似の面接であってもできるかぎり学習者が受ける面接として不自然でないものや学習者の面接準備への動機が高まるような場面を設定します。
- 「誰と？」は、実際の面接場面に近くするため、日頃は接触をしないような教職員や地域の社会人进行を考えるといいでしょう。例えば、学生の就職支援を担当するキャリアセンターの職員の協力を得るか、元会社員などの地域に住む年配の方を活動の相手として考えるといいでしょう。逆に、学部生などはこの活動の相手として適当ではありません。
- 面接官役にも何の面接なのかについての背景知識が必要です。アルバイトの面接という設定の場合には、あらかじめ学習者が応募しそうなアルバイト先をいくつか準備し、その中から1つを面接協力者に選んでもらいます。
- 面接官には8課の「ふりかえり」(p. 163)のコピーとそれぞれの評価項目の評価基準を口頭または文

書で説明しておきます。

- 例 1 や例 3 のように学習者が面接官のところへ訪ねていく活動の場合、学習者自身に IC レコーダーを持たせるなどして面接の様子を録音させてください。面接官としての協力を依頼する際には、面接会話の録音の許可をとっておいてください。
- 例 2 の設定で授業時間に地域の人に来校してもらい、疑似面接をする場合には、VTR カメラでの録音ができるとより「ふりかえり」の内容が濃くなります。

3. 活動の流れの例

教科書 (p. 152) のインターアクションの例をクラス活動として行う場合の一例をご紹介します。この例は、例 2 のように地域の社会人に面接官役になってもらう場合となっています。

(1) 事前準備

- ビジターとして参加してくれる地域社会人ボランティアを探します。学習者の数が多い場合には複数必要です。以下の活動の時間から計算して面接官の人数を決めてください。
 - *面接官が複数必要な場合、県や市の国際交流協会に相談し、地域の語学ボランティアの方々を紹介してもらうのも一案です。
 - *ボランティアの方が当日欠席した場合の代替案を考えておく必要があります。
- 面接を行う教室などを手配し、活動に必用なものを準備します。
 - *面接会場ドアの張り紙、IC レコーダー、VTR カメラ
- 面接官役の地域社会人ボランティアの方々にこの活動に関連する資料を渡し、面接終了後に回収します。
 - *配布資料例として実際に使ったものを p. 4 に付けておきます。必要に応じて加工してお使いください。面接官役に渡したその他の資料はその中に書いてあります。

(2) 当日の活動の流れ (90 分の場合)

ここでは、学習者 15 名、面接役社会人ボランティア 5 名の場合の活動の流れを紹介します。

時間配分	活動の進め方		備考
10 分	活動の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・面接官役への事前説明をする。 ・活動②の集合時間と集合場所を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> *面接官は各教室へ移動する。 ・学習者へ面接会場への行き方、時間等の再確認をする。 ・学習者は自分の順番の 5 分前には面接会場へ着いておくように注意する。 ・活動②の集合時間と集合場所を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料
60 分	活動①	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習者は各面接会場で面接を受ける。 1 人 15 分 × 3 人 = 45 分 <ul style="list-style-type: none"> *計算上は 45 分間の活動だが、移動時間などの余裕を考え、を 1 時間とっておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・録音する ・評価対象とする

15分	活動②	◆面接官からのフィードバック 【社会人ビジターとの交流の時間】 ビジターが面接官をして感じた印象について話したり、逆に学習者から面接官役のビジターに質問をしたりする。 ＊面接官役はボランティアですので、面接に関してアドバイスをしなければいけないというプレッシャーをかけないようにしてください。	・評価対象としない
5分	後片づけなど		

(3) フォローアップタスク

- 教科書8課「ふりかえり」(p. 163) に面接官役からもらった評価と自分自身の評価を記入する。
- 学習者同士で、面接官から出た質問やその後のフィードバックのときに感じた疑問点を出し合う。
- 面接を受けた日の日記の形で、自分が感じたことなどを書く。
- 実際に面接を受ける予定がある学習者の場合には、面接当日に向けての準備をどのように進めるかの計画表を書くことも効果があると思います。

4. 活動実施のポイント／注意点

- 履歴書は学生の個人情報にもなりますので、必要に応じて学校の住所等に変更しておく必要があります。また、面接の活動終了後に各面接官役の方から回収するようにしてください。
- ICレコーダーが学習者の人数分準備するのが難しい場合には、代替案で対応してください。
- 面接を行う場所が通常使っている教室とは異なる場合、面接の教室のドアのところに面接会場とわかる表示を貼っておくなどして、活動に入る以前に起こり得るトラブルを回避しておくことも大切です。
- 学内外の面接協力者を得るのが難しく、止むを得ずこの授業の担当教員が面接官になる場合には、服装を変える、面接場所を変える（例えば、会議室などを使う）などして、授業のときとは違う空間にする工夫をしてください。
- 面接終了後のフィードバックの時間は、面接官役をしてくれた社会人ボランティアと学習者との交流の時間として捉えてください。学習者はこの日のためにスーツを着てくることはありませんし、留学中なのできちんとした服装を持っているともかぎりません。必要に応じて社会人ビジターの面接官役に説明しておく必要があります。

5. 面接官役のボランティアへの配布資料例

_____様

【教室】 1号館2階 204教室

I. お渡しするもの 【お帰りの際にフォルダごとご返却ください。】

- ①面接スケジュール、面接を受ける学生の氏名
- ②学生の名前をつけたICレコーダー
- ③学生毎の評価表
- ④質問例（本紙裏面）
- ⑤学生が書いた履歴書のコピー

※参考資料としてお使いください。学歴、住所等は本当のこととはかぎりません。

II. 面接について

- (1) 面接の教室へ入られましたら、机、いすは自由にレイアウトを変更して下さって構いません。
- (2) 学生には、自分の時間になったら面接教室へ行くように指示してあります。
学生が遅刻してきたり、来なかった場合でも予定通りの時間で進めてください。
(遅れてきた学生のために時間をずらさず、遅れた学生の分のインタビューは短くなくても構いません)
- (3) 1人あたり15分当てていますが、10分～15分の間で切り上げて下さって構いません。次の学生が来るまでの時間に評価表にご記入ください。

III. 面接の流れ

- (1) 学生にはドアのノックをして入ってくるところから評価対象になると伝えてあります。
- (2) 面接を始める際、学生にICレコーダーを渡してください。学生は録音の許可を得て、録音します。ICレコーダーを置く場所は学生に任せてあります。面接後、ICレコーダーは学生が自分で聞きなおして自己評価することになっていますので、学生に持ち帰らせてください。
- (3) 面接の質問は時間が余った際の参考ですので、適宜変えて下さって構いません。
- (4) 全員のインタビューが終わりましたら、12:15までにカエデラウンジへお戻りください。その際、担当教師が評価表と履歴書を回収させていただきます。
- (5) カエデラウンジで、仕事の面接を受ける際の一般的なアドバイスや何か気づかれたことがあれば、10分ほど学生にお話してください。学生に「どこが難しかったか」などと尋ねて、わからなかった質問を確認させても構いません。

IV. その他

何か困ったことが起きましたら、徳永の携帯へお電話ください。

(080-xxxxx-xxxx)

【面接の想定】

- ・ 留学生活についての審査。
- ・ 日本へ留学を決めた理由や目的がはっきりしているか。
- ・ 日本留学中に留学の目的のためにどのような努力をしたか。
 - ※留学中のことを話させてください。質問はすべて日本語をお願いします。
 - ※家族背景が複雑な学生もいます。プライバシーに関わるご質問は控えてくださると助かります。

【質問例】

- ①〇〇さんの長所と短所を教えてください。
それは、日本にいる間に変わりましたか。
- ②日本へ留学したのはどうしてですか。
- ③日本へ留学することが決まって、ご両親や友だちは何と言いましたか。
- ④今学期、一番頑張ったことは何ですか。
- ⑤留学中で一番、思い出に残っているのは何ですか。
- ⑥国へ帰ったあとの計画について教えてください。